

## 研究協力のお願

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

最後に、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：経口セマグルチドが腎機能に与える影響についての検討

### 1. 研究対象者および研究対象期間

2024年1月～2024年12月に当院院外処方にて経口セマグルチド錠  
(商品名：リベルサス<sup>®</sup>錠)3mgが処方された方

### 2. 研究目的・方法

GLP-1受容体作動薬であるセマグルチドは、2型糖尿病治療薬として2018年3月に製造販売承認を受け、週1回皮下投与製剤が販売されました。その後、セマグルチドの利便性向上を目的に経口セマグルチド錠(商品名：リベルサス<sup>®</sup>錠)が開発され、2020年6月に製造販売承認を取得し2021年2月に販売が開始となりました。

GLP-1受容体作動薬は慢性腎臓病や心血管疾患などの併存疾患を持つ2型糖尿病においては更なる有益性を示すと考えられています。直近ではセマグルチド皮下注製剤を週1回皮下投与した際、投与開始直後に一過性のeGFR低下を認める報告もされていますが、2型糖尿病と慢性腎臓病を有する患者に対しては年間でのeGFRの低下軽減等腎保護効果を認める報告がなされています。

一方、リベルサス<sup>®</sup>錠については、腎機能に与える影響や開始直後の一過性のeGFR低下に関する報告は少ないのが現状です。そこで今回、岐阜県総合医療センターで2型糖尿病に対してリベルサス<sup>®</sup>錠3mgが開始された方についてSGLT2阻害薬を含む併用薬の使用状況や腎機能に与える影響、一過性のeGFR低下の発現状況について調査、検討することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、CKD ステージ分類、リベルサス<sup>®</sup>錠 3mg の投与開始日、既往歴、血液検査所見、尿検査所見、SGLT2 阻害薬の併用状況及び用量、その他使用中の併用薬及び用量

4. 個人情報の取り扱い

個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

“所属” 薬剤部

“氏名” 中野 裕二郎

電話番号：058 - 246 - 1111